水無月（6月）の予定

日	曜	行事予定
1	水	避難訓練 学校経営指導訪問
2	木	性教育講話会 宿泊研修保護者説明会
3	金	小中連授業交流会
4	土	道南選抜中学校野球大会（～５日）
6	月	オープンウィーク（～１０日）
7	火	学習コンクール
9	木	中体連陸上壮行会
１０	金	英検
１１	土	檜山中体連陸上競技大会（江差）
１４	火	前期中間テスト
１５	水	定例職員会議
１６	木	檜山管内少年の主張大会（厚沢部）
１７	金	学力テスト（3年） 専門委員会
１８	土	吹奏楽祭（函館、～１９日）
２３	木	ネットトラブル防止講話
２４	金	中体連球技・武道大会壮行会
２５	土	今金ミュージックサマースクール（～２６日）
２８	火	檜山中体連球技大会（～２９日）
３０	木	眼科検診

◎ちょっと深い話

☆強いものが弱いものを守る

「いじめ」をなくすためにどうすべきかということで、僕の中で大きなヒントになるのは、施設での経験です。

僕がいたとき、『和白青松園』の子どもたちの間で「いじめ」というものはありませんでした。なぜなら僕たちはみんな弱かったからです。

たとえば、遠足や運動会。お昼になれば普通の子どもたちは、親と一緒にお弁当を広げます。でも、僕たちは子どもたちだけで先生と一緒に施設でつくってもらったお弁当を食べました。「家庭料理」というものにすごく憧れたのを覚えていますし、みんな幼い顔ながら、「ああ、僕たちは“違う子ども”なんだなあ」と理解できたのです。

だから、僕たちは仲間意識というか団結力がすごくありました。まだ自分で靴下をはくことのできない小さな子どもがいたら、年上の子どもが手伝ってはかせてあげる。誰かが学校でいじめにあったら、みんなで止めに行く…。そんな調子なので施設の中で強いものが弱いものをいじめるなんてこともなかったのです。

僕たちの場合、「自分たちには親がいないけれど、“普通の子ども”たちには負けないぞ」というハングリー精神のような気持ちも強かったと思いますが、その根底にあったのは、「自分たちは弱い存在だから助け合おう」という思いでした。

力の弱い子どもを力の強い子どもが守る、そして見て見ぬふりをしない…。力がなくても行動を起こすことによって自信という力がついてくる。このような「助け合う」ということを、子どもたちが自分たちで自然に思えるようになれば、いじめは消えていくのではないでしょうか。

勇気ではなく行動力。自分たちは弱い存在だから助け合おう！

（坂本博之　著
「『運命』を跳ね返すことば」より）

☆著者略歴

坂本博之
（さかもと　ひろゆき）

1970年、福岡県出身。元プロボクサー。パワーのあるパンチで「平成のKOキング」と称された。日本、東洋太平洋ライト級王座を獲得。元世界ランキング1位。

幼少時に両親が離婚し、預けられた児童養護施設「和白青松園」のテレビでボクシングの試合を観たことがきっかけで、プロボクサーを志す。2000年に行われた畑山隆則とのタイトルマッチは「平成の名勝負」として有名。引退後はSRSボクシングジムを経営するとともに、自らも幼少時に児童虐待の被害者だった体験から、子どもたちの怒り、悲しみ、影の心を受け止めるために、全国の児童養護施設を廻っている。

→本校の学校だよりへの掲載については、著者本人からの承諾を得ています。

学校だより
月刊
今中

今金町立今金中学校　学校教育目標
自学　自立　共生

平成28年度　重点教育目標
**自立に向けて　目標を持ち
ねばり強く学ぶ生徒の育成**

電話　82－0072　FAX　82－0794
E-mail　imakanetyu@hakodate.or.jp

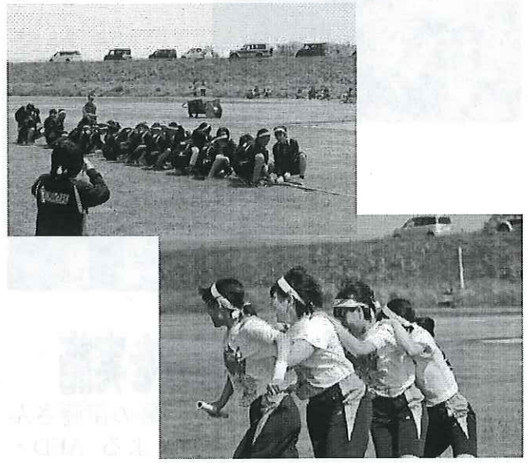
No.2　平成28年5月31日発行

*テーマ「戦魂」～己を信じ全力を尽くし
我らの祭りで有終の美を飾れ*

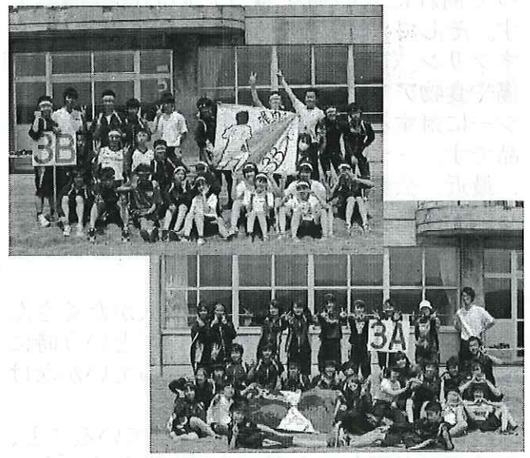
平成28年度体育祭を実施

２２日、平成２８年度の体育祭を行いました。これ以上は望めないくらいの最高の天候のもと、生徒たちは気持ちよさそうにグランドを走り回り、最後まで、競技に、係活動に、応援にとフル回転。笑顔が光っていました。

結果は白組の圧勝。徒競走などの個人競技では接戦だったようですが、学年種目や綱引きなど団体競技でことごとく白組が勝ち、大きくリードしました。



しかし、生徒たちは最後までモチベーションが下がることなく、全力を尽くしていました。



前期の計画を審議

生徒総会を実施

４／２７、前期生徒総会が行われ、計画・予算が審議されました。

執行部、各専門委員会の活動方針と計画、予算案が提案され、質疑を通しながら承認されていきました。各学級からの質問も多く出されましたが、それに対する回答もしっかり行われていました。

いざ、と言うときのために

AED・エピペン講習会を実施

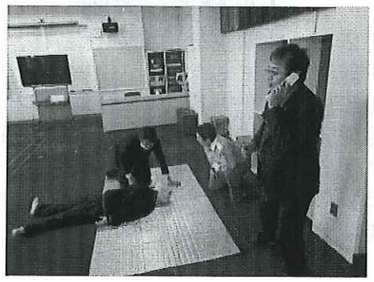
４／２７の放課後、今金消防署の伊藤さんと高橋さんを講師に、教職員による AED・エピペン講習会を実施しました。

「AED」とは、正式名称を「自動体外式除細動器」といい、突然の心停止を起こして倒れた人を、そこにいる人たちがその場で使って倒れた人の命を救うための医療機器です。そして「エピペン」は正式名称を「エピネフリン（アドレナリン）」といい、ハチ刺傷や食物アレルギーなどによるアナフィラキシーに対する緊急補助治療に使用される医薬品です。

最近、公共施設をはじめ、いろいろなところに設置されている AED ですが、正しい使い方を知っている人は、意外に少ないのが現状のようです。

私たち教職員は学校という、人がたくさん集まる場所に勤務しており、いざという時には、しっかりと対応し、命を守っていかなければいけません。

毎年行っているのですが、忘れていること、再確認が必要なことがいくつかありました。大変有意義な講習でした。今金消防署のみなさん、ありがとうございました。



ぜひご来校を!

第1回オープンウィークを開催します！

本校では数年前からオープンウィークという「学校参観週間」を実施しております。チラシ等でご存じの方もいらっしゃるとは思いますが、「より多くの保護者・地域の方々に学校の様子や生徒の活動（授業や部活動など）を見ていただく」ことが目的です。

第１回	６／	６(月)～１０(金)
第２回	１１／	７(月)～１１(金)
第３回	２／	６(月)～１０(金)

お友だちやご近所とお誘い合わせの上、ぜひご来校ください。

めざせ北見！

檜山中体連陸上大会出場予定選手

６／１１(土)、江差総合運動公園にて檜山中体連陸上大会が開催されます。全道大会を目指して、檜山の全中学校から選抜されたアスリートたちがしのぎを削りますが、今年度の本校からの出場予定選手が決定しましたのでお知らせします。

- 林　雅希（８００M、４００MR）
- 村山　楓馬（走幅跳）
- 瀧澤　泰基（８００M）
- 田島　怜哉（砲丸投）
- 水口　卓哉（１００M、４００MR）
- 千葉　洸暢（１００M、４００MR）
- 松浦　明仁（砲丸投）
- 山崎　駿一（砲丸投、４００MR）
- 伊藤　生吹（８００M）
- 内田堅士郎（１００M、４００MR）
- 長内　尚也（１５００M）
- 木島　健児（８００M）
- 平井　　伶（１５００M）
- 水野　壱晟（１年１００M、４００MR）
- 三浦　颯斗（１年１００M）
- 村上　脩斗（１年１００M）
- 内ヶ島徳良（１年１５００M）
- 長内寿希也（１年１５００M）
- 吉田　陽菜（走幅跳、砲丸投、４００MR）
- 村上愛香梨（走幅跳、砲丸投、４００MR）
- 中村　未歩（１００MH、４００MR）
- 森屋　遥陽（８００M、１５００M）
- 大口　結月（１年１００M、４００MR）
- 加藤　理紗（１年１００M、４００MR）
- 辻　　歩夢（１５００M、４００MR）

今年は厚沢部町で開催！

管内少年の主張大会

今年は、厚沢部町での開催になります。詳細は下記の通りです。

日時：6月16日(木)　13:00～
会場：厚沢部町民交流センター「あゆみ」

本校からは、以下の２名が出場します。

油家芽衣　『生きている幸せ』
大谷陽和　『馬鹿な私は今更ですが』

今金中学校代表としての誇りを持って、全道大会を目指して、頑張ってほしいと思います。

☆部活動情報☆

○野球部

５／５　今金ベースボールキャンプ
対上ノ国　１－４　●惜敗
対江差北　１１－０　○快勝
５／１４　全日本少年野球函館地区予選
対大　野　１－５　●惜敗

○男子バスケット部

５／７，８　檜山春季大会
対上ノ国・大成　６７－４７　○快勝
対乙　部　７２－２８　○快勝
対江　差　４４－４４　△引き分け
→準優勝（T_T）
☆優秀選手　木島翔吾

○女子バスケット部

５／７，８　檜山春季大会
対乙　部　６０－３３　○快勝
対江　差　６０－３５　○快勝
→優勝（^_^）v
☆最優秀選手　杉内磨世
優秀選手　木戸優香

○サッカー部

５／７　檜山春季大会
対瀬棚・北檜山　４－０　○快勝
対上ノ国・乙部　６－０　○快勝
→優勝（^_^）v
☆最優秀選手　水口卓哉
優秀選手　長内尚也

○女子バレー部

５／７　檜山春季大会
対乙　部　０－２　●惜敗
対鯫・青苗　１－２　●惜敗
対江差北　０－２　●惜敗

○バドミントン部

４／２９、５／１　道南春季大会
☆女子シングルス
ベスト８　村瀬百美